

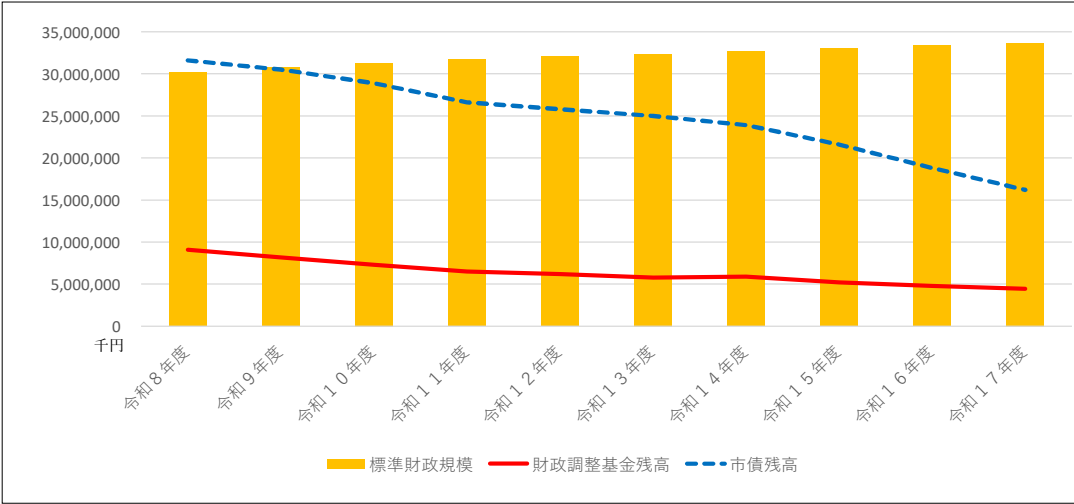
1. 財政見通し期間（令和8年度から令和17年度）における財政調整基金の残高推計

(単位：千円)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
1 当初財源不足額(A)	1,200,000	1,820,000	900,000	2,100,000	2,100,000	2,000,000	1,400,000	1,600,000	900,000	1,900,000	1,600,000	1,500,000
2 標準財政規模(B)	29,210,023	29,540,295	30,187,475	30,720,016	31,320,047	31,674,950	32,065,437	32,365,929	32,670,986	33,033,182	33,345,661	33,661,091
3 実質収支(C)	1,933,983	1,477,015	1,509,374	1,536,001	1,566,002	1,583,748	1,603,272	1,618,296	1,633,549	1,651,659	1,667,283	1,683,055
4 前年度末残高(D)	9,330,712	9,476,828	9,022,248	9,075,756	8,185,443	7,308,444	6,526,445	6,233,319	5,789,955	5,914,103	5,245,878	4,826,708
5 積立額(E)	1,146,116	1,005,420	773,508	789,687	803,001	818,001	826,874	836,636	844,148	851,775	860,830	868,642
6 取崩額(F)	1,000,000	1,460,000	720,000	1,680,000	1,680,000	1,600,000	1,120,000	1,280,000	720,000	1,520,000	1,280,000	1,200,000
7 年度末残高(G)=(D)+(E)-(F)	9,476,828	9,022,248	9,075,756	8,185,443	7,308,444	6,526,445	6,233,319	5,789,955	5,914,103	5,245,878	4,826,708	4,495,350

【項目の説明】 ※ 令和6年度および令和7年度の網掛けセルは確定値

当初財源不足額(A)・・・当初予算における財政調整基金繰入金の額（令和6年度および令和7年度は当初予算額。令和8年度から令和17年度は、『青梅市の財政見通し』の財源不足額。）  
標準財政規模(B)・・・市税、普通交付税、地方譲与税等の一般財源ベースでの地方自治体の標準的な財政規模を示す指標（令和6年度および令和7年度は確定値。令和8年度以降は『青梅市の財政見通し』から算出）  
実質収支(C)・・・各年度の純剰余または純損失を意味する指標（令和6年度は確定値。令和7年度以降は実質収支比率5％（実質収支/標準財政規模）として推計）  
前年度末残高(D)・・・n－1年度の財政調整基金残高（令和6年度は確定値。令和7年度以降は各項目の数値により計算）  
積立額(E)・・・n年度の財政調整基金積立金の額（令和6年度は確定値。令和7年度は12月補正後の予定額。令和8年度以降は、実質収支(B)のn－1年度の1/2＋推計基金運用益）  
取崩額(F)・・・n年度の財政調整基金取りくずしの額（令和6年度は確定値。令和7年度以降は、当初財源不足額(A)×0.8で計算）  
年度末残高(G)=(D)+(E)-(F)・・・n年度の財政調整基金年度末残高（令和6年度は確定値。令和7年度以降は各項目の数値により計算）



左のグラフは、上記1および下記2の推計における「標準財政規模」、「財政調整基金残高」、「市債残高」の動きを示したものです。  
『青梅市の財政見通し』において、市税や普通交付税といった主要な一般財源の歳入が伸びる見込みであることから、「標準財政規模」は連増します。  
「財政調整基金残高」は、年度末残高の動きを示しており、令和14年度を除いてマイナスとなり、減少していく見込みです。ただし、当該基金の取崩し額を当初財源不足額の8割と見ての推計であり、これが上下することで、残高も併せて変動します。  
「市債残高」は、令和8年度にピークを迎え、以降臨時財政対策債の償還が進むことなどから、文化ホール施設の建設による借入れを見込んでもなお、残高は減っていく見込みです。ただし、『青梅市の財政見通し』で見込んだ大規模事業についてのみ算入しているため、それ以外の事業を市債を財源の一部として実施する場合は、残高見込みも変動していきます。

2. 財政見通し期間（令和8年度から令和17年度）における市債の残高推計

(単位：千円)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
1 年度末残高(a)	27,264,381	27,868,278	31,600,000	30,500,000	28,900,000	26,600,000	25,800,000	25,000,000	23,900,000	21,600,000	18,800,000	16,200,000
2 (うち臨時財政対策債年度末残高)	18,386,150	16,537,948	14,731,032	12,993,190	11,323,591	9,717,416	8,212,606	6,820,551	5,561,526	4,449,408	3,486,006	2,659,855

【項目の説明】  
年度末残高(a)・・・n年度の市債年度末残高（令和6年度は確定値。令和7年度は第3号補正後の数値。令和8年度から令和17年度は、『青梅市の財政見通し』を踏まえた推計額）